

月刊

リサイクルデザイン

● RECYCLE
Design

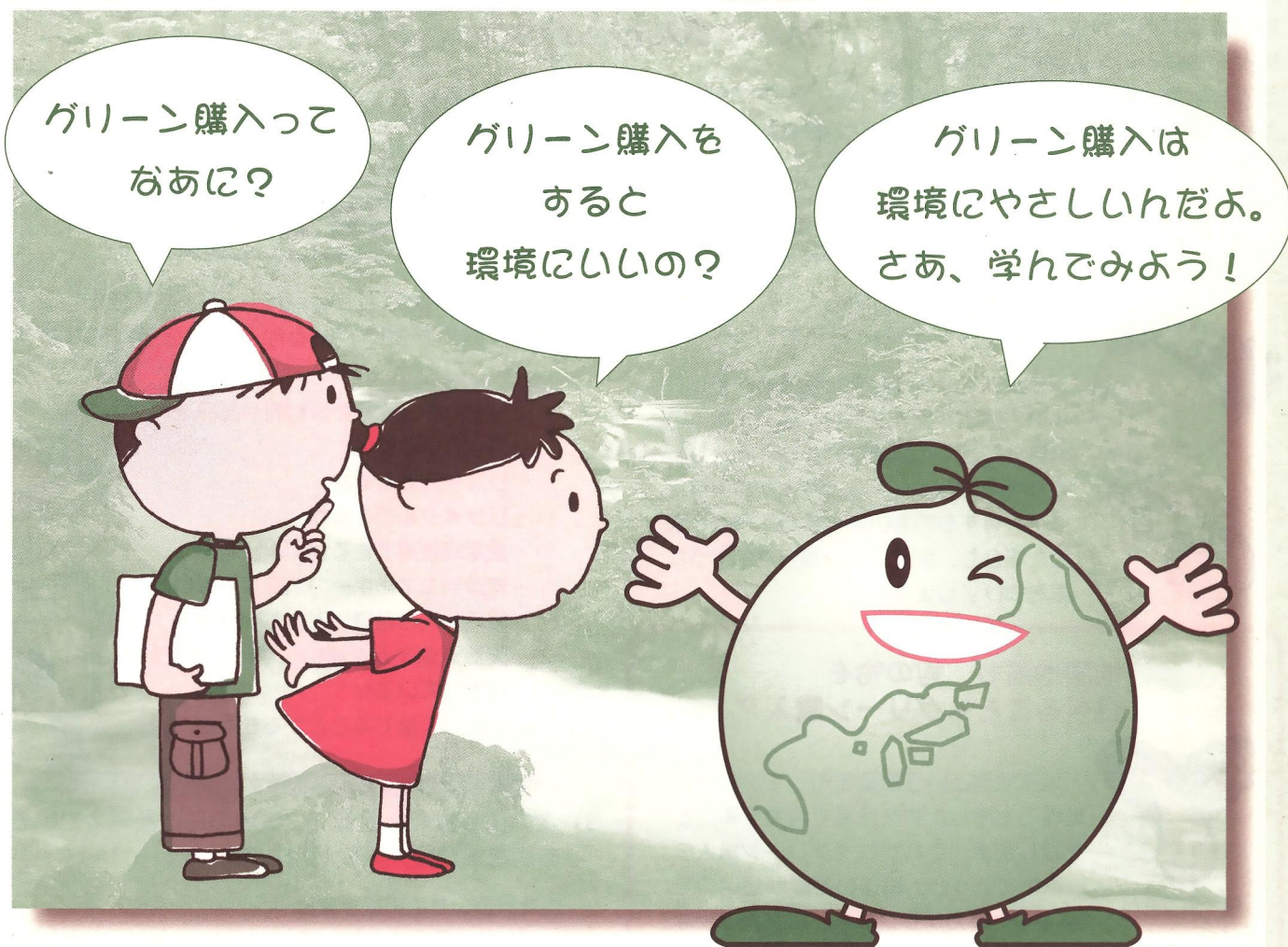
No.141 2006. 6

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

特集

リサイクルすればいいってもんじゃない

大事なのはグリーン購入なのデス！



- 教えて聞かせて
商店街の店先に藤棚が…P5
- リサイクルデザイナー…P6

- 尚美のマクロビオティック…P7
- 18区に聞く！G30のわがまち自慢…P8
- Mr.Rの3Rバンザイ…P8

大事なのはグリーン購入なのデス！



私たち『月刊リサイクルデザイン』ではこれまで3Rや“もったいない”という心かけの大切さをお伝えしてきました。3R、つまり「リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）」は重要ですが、実はそれだけでは不十分。再生品を購入し利用しなければ、資源は循環しないのです。大きなリサイクルの輪を作り、ずっと回し続けようというのが“グリーン購入”という考え方です。今回は、その特集です。

もっと知りたいグリーン購入

グリーン購入が目指す未来

地球環境は、残念ながら年々悪化しています。このまま放っておいたら、地球上のすべての生き物にとって地球はとても住みにくい場所になってしまいうでしょう。環境の悪化を食い止めるために限りある資源を有効に利用して

いこう、そして、ずっと後の世代まで健康に暮らせる環境を残そうというのがグリーン購入の目的です。

グリーン購入法という法律

平成13年に施行された法律で、国の機関はグリーン購入を「しなくてはな

はグリーン購入を「しなくてはならない」とし、地方自治体（都道府県や市町村）は「するように努力しなくてはならない」、企業や一般市民は「できるだけし

どうしたらグリーン購入できるの



1) 物を買おうと思ったら、まずは必要性を十分に考えましょう

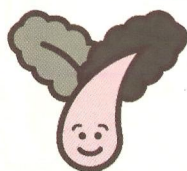
今使っている物がまだ使えるかもしれない、修理できるかもしれない、あるいは自分にとって必要ないかも、と、じっくり考えてみましょう。友人から借りたり、共有するのもいいですね。買うと決めた場合も、余分に買い過ぎないように気をつけましょう。

2) 買う場合、次のような点に注目して選びましょう。環境ラベルが付いているかどうか参考になります。

- ・リサイクルされた原材料や部品を使っているか
- ・リユースできるか
- ・リサイクルできるか
- ・長期間使用できるか
- ・資源やエネルギーの消費が少ないか
- ・環境や人の健康にとって安全か
- ・天然資源をムダ遣いしないよう正しく管理しているか
- ・分別して捨てることができるか



地産地消も、旬の物を食べることもグリーン購入？！



はま菜ちゃん

地産地消という言葉を知っていますか。地域で生産した物を地域で消費することを指します。これがなぜグリーン購入になるかというと、輸送の距離が短いのでエネルギー（ガソリンなど）の消費が少なくて済む、つまり省エネ、省資源になり、加えて大気汚染も抑えることができるからです。

また、旬の野菜や果物を育てるのは大地と雨と太陽。温室やビニールハウスを使う場合に比べて省エネ、省資源なのでこれもまたグリーン購入と考えられます。

はま菜ちゃん…横浜市内で作られる野菜と果物のこと

3) 次のような点を目安に、環境のことを考えているお店を選び優先的に利用しましょう。

- ・環境保護のための取り組み
- 例) グリーン購入をしている
- 資源物の分別ボックスがある
- 簡易包装を推進しレジ袋の削減に努めている
- ・ISO14001を取得している

* ISO14001……環境マネジメントシステムのひとつ。企業などが環境への負荷を抑えた経営をするための仕組み。（『月刊リサイクルデザイン』140号参照）

環境ラベル

環境配慮型物品を選ぶ際の参考となる
環境ラベル

企業の取り組みにおける環境ラベル



注) このページにちりばめたマークを総称して「環境ラベル」といいます。パソコンを使い「環境ラベル」というキーワードで検索すると、マークの表す意味が詳しくわかります。

参考: グリーン購入ネットワークホームページ <http://www.gpn.jp/>
横浜市発行「地球にやさしい暮らし方・市民編/グリーン購入ガイドライン」

横浜市は こんなふうに グリーン購入を しています



アース君の
体がきれいになっ
たよ。

わたしたちが
買うノートも地球
にやさしいだね。



『地球にやさしい暮らし方・市民編／グリーン購入ガイドライン』をご希望の方は下記までご連絡を。
横浜市役所市民情報センター（TEL 671-3600）
または各区役所広報相談係

独自の方針と具体策で

横浜市では、平成14年度から独自の方針と具体策を定めてグリーン購入をすすめています。

たとえば「市は、こういう基準を満たす物を優先して購入します」としている物やサービスの数は、220種類にのぼります。紙や文房具、蛍光灯などの電化製品、椅子や机、工事用の資材などなど、そのひとつひとつに関して、グリーン購入かどうか判断するための条件を定めてあります。市環境創造局の桐谷さんにお話をうかがいました。「多量に購入しているコピー用紙は、古紙パルプ混合率100%で白色度70%

程度以下の物を必ず購入しています。また市バスや消防車の大型タイヤはたいへん高価なものですから、傷んだらすぐに丸ごと交換するのではなく、磨耗したらまず表面の部分だけを張り替える、つまり下駄の歯を代えるような「更正」をするような取り組みを進めています。交換までの期間を永くすると、経費が浮くだけでなく廃棄物を減らす効果もあるんです。もちろん、安全性は一番初めに確かめた上でのことです。これも、グリーン購入への取り組みによって実現したことのひとつです」

市民も一緒に！を目指して市が率先

現在、市役所本庁や区役所、市の出先機関（民間委託以外）でグリーン購入を行なっていて、市立学校にも協力をお願いしているそうです。取り組み5年目に入った今、桐谷さんには思うことがあります。

「市ががんばっても、はっきり言えばたかが知れています。横浜市民は350万人いるんですよ。たとえばひとりが1本、環境にやさしいボールペンを選んだら350万本売れることになります。市民のみなさんが当たり前のようにグリーン購入することのほうが、効果絶大なんですよ。私たちの役割は、そのための方向性を示すことだと思っています」

グリーン購入の具体的な取り組み方を示した『地球にやさしい暮らし方・市民編／グリーン購入ガイドライン』を今年3月に発行したのは、そんな理由から。環境創造局職員として制作に関わった和田尚子さんは次のように言います。

「地球上の生き物は人間だけじゃないですよ。動物も植物もみんな地球上の仲間です。私たちをとりまく地球環境が健康な状態であるように、これまでの暮らし方を見直す時期に入っていると思います。この冊子をみて、ひとりでも多くの市民がグリーン購入をしてくれたらと願っています」

桐谷さんは、近ごろは以前に比べてグリーン購入しやすい社会になってきたと見ています。前ページにあるような環境ラベルをひんぱんに目にするようになり「環境ラベルの付いた物がひとつも無い文房具屋さんを探すのは不可能に近い」とのことです。大勢が使うようになれば品物の種類も量も増え、社会全体として「グリーン購入が当たり前」に近づいていけます。思い立ったその日から、あなたも少しずつ始めてみてはどうでしょうか。



第8回グリーン購入大賞で大賞を受賞した 大川印刷さん（本社戸塚区）はすごいゾ！

環境の大川印刷

グリーン購入ネットワーク（以下GPN）は、グリーン購入の取り組みを促すため1996年に設立され、現在2800以上の自治体や企業、民間団体が会員となっています。グリーン購入を通じて、環境保全や3Rに貢献する優れた会員へGPNが贈る“グリーン購入大賞”に、今年2月、（株）大川印刷さん他5つの団体が選ばれました。神奈川県で初、印刷業者としては日本初の受賞と聞き取材に。4月22日、訪ねたのは代々木公園、*アースデイ2006のイベント会場に出席した大川印刷さんのブースでした。

印刷業だからこそ環境を考えた

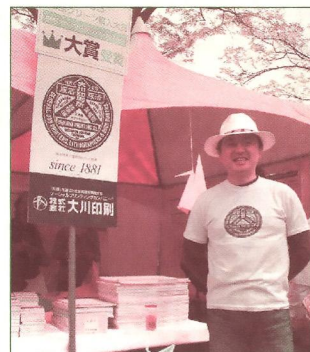
「先代にね、“印刷屋なんて紙も水も大量に使うし、環境に厳しいよ”って言うては“そんなことを言うな！”って叱られてね」



去年はブース出店だけだったけれど今年は協賛としてアースデイに参加。大きな折り紙を折ってみようというアイディアは、取引のある紙問屋さんの協力により実現した。去年同様に子ども連れに大好評だった。

のっけからびっくりさせてくれたのは、去年38才の若さで6代目社長に就任した大川哲郎さん。明治14年創業、今年125年目を迎えた古参の印刷屋さんが印刷業界初の快挙を成した影には、やはりこんなパワフルな社長さんがあったのか、と思わせられます。

「そんな印刷という稼業だからこそ、仕事の上で環境をしっかり配慮した経営をしなくてはいけないと思うんです。本業を通じ、環境や社会に貢献することができるようNPOやNGOと協働してユニセフやWFP（国連世界食糧計画）



創業123年の記念に作ったオリジナルTシャツを着た大川さん。社員とおそろい。

などに募金活動もしています。利益が出たから社会貢献を、でなく、本業を通じての貢献でなくては持続できませんから」

ISO14001は2002年に取得しましたが、取得のために特別なことをしたのではなく、地道にこつこつと、必要と思われることを社員と共に実行しただけで大川さんは言います。

評価されたのは“エコライン”という考え方

印刷から配送まで一貫して環境に配慮するのが“エコライン”（商標登録済み）という次のような独自の構想です。

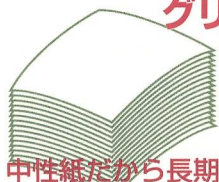
- 1) **印刷用紙** 再生紙や非木材紙、国産間伐材を利用した間伐紙だけでなく、FSC森林認証紙という正しく管理された森林で伐採された木材を原料とする紙を優先的に使用
- 2) **印刷インキ** 石油系溶剤含有率1%未満で環境負荷が低いノンVOCインキのみをカラー印刷に使用
- 3) **製本** 針金を使わない製本により、安全でリサイクルしやすい仕上がりに
- 4) **配送** 使い捨ての段ボール箱でなく何度も使えるプラスチックの通い箱に入れ、圧縮天然ガス車で納品する

さらに、営業マン6人に与えられた営業車はハイブリッドカー1台のみ。電車やバスを使ったり、車を時間借りするカーシェアリングシステムを導入することにより、車両だけでも1年間で9.5トンの二酸化炭素を削減できました。神奈川県産の間伐材を台座にした「森がよるこぶカレンダー」や、金属でなく紙製のリングでとしてリサイクル効率を上げた「セパレートエコカレンダー」など、オリジナル商品の開発にも大川さんのポリシーが表れています。詳しくはホームページを。

<http://www.ohkawa-inc.co.jp>

*アースデイ……1970年から続く「地球のことをみんなで考えよう」というテーマのイベント。

グリーン購入には、リサイクルデザインの再生コピー用紙をどうぞ



マイスタップ100 マイスタップカラー

- ・中性紙だから長期保存も安心です。
- ・色もいろいろ選べます（白、ピンク、イエロー、グリーン、ブルー、クリーム）
- ・白は白色度70%だから、目にやさしくチラつきません。



ご注文・お問い合わせ

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL：045-444-2531 FAX：045-444-2532

マイスタップ100/マイスタップカラー 価格表（全て税込）

サイズ	枚数	色	1～2ケース	3～9ケース
A4	2,500枚	白	2,184円	1,816円
		他5色	3,843円	3,276円
B4	2,500枚	白	3,339円	2,719円
		他5色	5,250円	4,914円
B5	2,500枚	白	1,669円	1,365円
A3	1,500枚	白	2,698円	2,173円

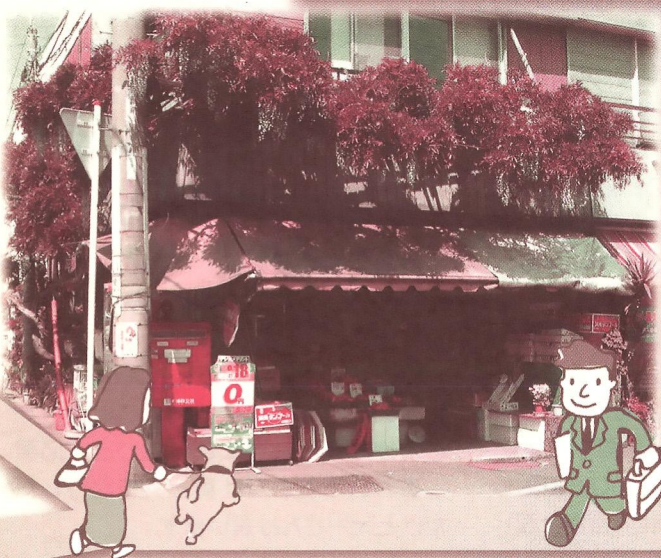
注：関東一円送料無料。価格は1ケースあたりを表示しています。

注：10ケース以上をご希望の場合は当組合までお尋ねください。



教えて、聞かせて

町の中に緑を増やそう



今年も三ツ池口商店街（鶴見区）の果物屋さんの軒に、見事な藤の花穂がたくさん下がりました。

国道一号線にかかる響橋（眼鏡橋）のすぐそばで、良い匂いを漂わせています。お店の人に聞いてみると「40年前に花を一つ付けた鉢植えを買ったのね。鉢のまま軒下に植えたらこんなに大きくなっちゃった」そうです。なるほど店の横手には、山椒の木やいろんな草木の中に、直径30cmほどもある藤の木が生えていて、2階まで伸び、店の軒を横切り、隣の店までツルが這っています。まるで『ジャックと豆の木』のお話のよう。そう、藤も豆科なのですね。障害がなければどこまでも伸びていきます。果物屋さんの藤の木は、お隣りとの境で切られてしまいましたが、その分、毎年5月の連休の頃、花をたっぷり咲かせて、お客さんや道行く人を楽しませてくれます。

商店街では、何年も前に公設市場がなくなり、魚屋さん、豆腐屋さん、和菓子屋さんが消え、シャッターが降りている店が増えています。ずいぶん寂しくなっていますが、畳屋さん、経具屋さん、薬屋さん、本屋さん、靴屋さん、肉屋さん、材木屋さん、健在の店はまだまだたくさんあります。鶴見区は古い町でお年寄りが多く、歩いていける、こうした商店街は貴重です。

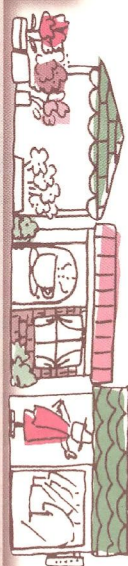
通りには歩道があるためか、どの店にもささやかな植え込みや、鉢植え、プランターが置かれていて、私は通るたび眺めます。寒さが厳しかったこの冬、内科クリニックの、ダチュラは枯れてしまったよう、空き地にはタンポポの花がいっぱい、床屋さんはコンテナガーデニングを始めたのね、と変化が見て取れます。

一つ一つはささやかな緑ですが、一日バスが何百台も往復する交通量の多い通りに植物があることには大きな意味があります。日中、植物は排ガスに含まれる二酸化炭素を吸収し、酸素を供給します。臨海部の横浜工業地帯からはき出される有害な微粒子もいくぶんは吸収してくれます。

商店街の店先に藤棚が



参考資料：
『21世紀のモデル
共学舎出版企画 キューバの有機農業』

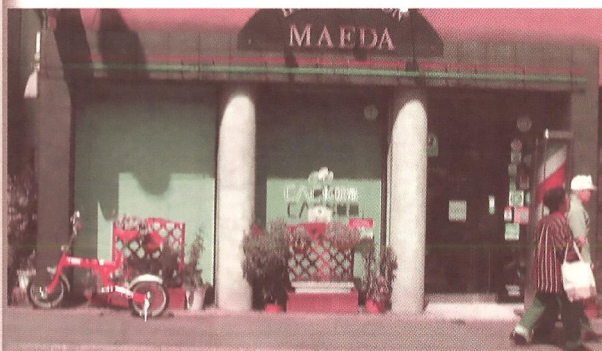


工場群から、ビルの空調、自動車、家庭のエアコンからの排熱で、これから数十日も真夏日が続きます。横浜市の夏に沖縄より気温の高い日があるという現象は変なのですが、緑が少ないことも原因と言えるでしょう。とりわけ市役所のある中区と、鶴見区の緑被率（区の面積に対する緑の割合）は15%を切る低さで深刻です。緑の量を増やさなくては、ますますヒートアイランド化（都市の人口の多さ、エネルギー消費の多さが気温を上げる現象）が進みます。

そこで誰にでもできる緑のカーテン作り。まず窓のそばの地面やプランターに蔓性の種をまきます。朝顔や豆類はどんどん伸びて日よけになり、室内の温度上昇をやわらげ、葉からの蒸散や土から水が気化するとき、わずかですけれど熱をうばいます。ニガウリの中に固い種があったらまくと、今年の夏中にいい匂いの花が咲き実が食べられます。ニガウリは南の植物なので、暑い季節が大好きなのです。

せっかく長い年月をかけて育った樹木が日陰になるから、大きくなりすぎたと簡単に切られ、その大半はごみとして燃やされています。これはなんとももったいない事、すでにある緑を守ることも大切です。町内の公園愛護会へは、希望すれば各区の土木事務所がコンポストの設置や、緑を増やすお手伝いをしてくれます。資源循環局事務所では、剪定枝を細かなチップにする機械を、運んで貸してくれます。チップにすれば、かさがうんと減り、積んでおくといい堆肥になるのです。世界中で始まっている町を緑にするアクション、あなたは何をしますか？

ササキミチコ



私たちもISO14001認証を取得しました



有限会社 マル二商店
(産業廃棄物処理業・鉄・古紙・びんの収集運搬業)
栗原清剛さん



有限会社 坂庭資源開発
(産業廃棄物・一般廃棄物・鉄・非鉄金属・古紙の収集運搬業)
大内 敦さん

前月に引き続き、今年3月に認証を取得した当組合メンバーに話を聞きました。

ISO14001を取得しようと思ったきっかけは？

栗原／行政の仕事が多いので、その資格を取るときに「ISOを取得していますか」という項目が増えてきて、以前から取りたいと考えていました。しかし費用もかかるので躊躇していたんです。今回グループで取るとということで、費用の面でも、一緒に取得に臨むという面でも心強かったです。

大内／うちも同じです。横須賀市で行政の仕事を請け負っているということと、あとは大きい会社に入社をするときにISOを持っていると仕事がしやすくなるということがあって参加しました。

取得するのに苦労したことは？

栗原／まず、自分の会社がどんな事業内容でどういうシステムで動いているのか、深く掘り下げて見つめなおすところから始めたんです。あいまいだったことをはっきりさせることは、簡単そうで実は一番大変なことでしたね。

大内／ISOの中身を理解することが大変でした。ISOの会議に出ても、最初は何を言われているか全く分からない状態で。たくさん書類提出があったんですけど「何のためにこの書類を作らなければならないか」ということを理解するのに2、3か月かかってしまいました。今年1月に受けた一次審査で、1番先だったマル二商店さんが審査員と書類をつき合わせてやりとりをしているのを聞いていて「なるほど、そういうことだったんだ」とそのとき初めて納得できたんです(笑)。

よかったことは？

大内／社員の意識が変わりました。始めは取得すると規則に縛られるというようなマイナスイメージでしたが、ISOの書類作りをするときに社員から出る現場の意見を取り入れていくことによって「俺たちみんなやっていくんだ」という共通意識を持つことができた。それによって「荷台にシートを掛ける」といった、やらなければいけないのに、馴れ合いで済ませてきたものも徹底されました。

栗原／ISOのシステム作りをしていくことで、仕事の内容や経営について深く理解できました。また会社がどんな方向性をもって進むのか具体的にスタッフに示せたことは、これから会社を動かしていく上でよかったことです。

これからどんなふうに取り組んでいきますか？

栗原／管理の面で言うと、自分も現場に出ているのですべてに目が行き届くわけではないんです。だからスタッフひとりひとりの意識をさらに高めていきたいし、その中から任せられる人を育てたい。そうして継続維持していくことで会社の発展もあると思っています。

大内／やはり持続していくことが当面の目標です。実は横須賀の同業者でISOを取ったのはうちが初めてなんです。質問されたりしますし、注目されると感じます。社員がISOを持っていることを誇りに、さらに進めていけたらと思います。

1 環境を考えるなら、まず自分の“手元”から

2 デザイン一新、一目でわかる“リサイクルブランド”

3 牛乳パックは、飲む→洗う→乾かす→リサイクルデザインボックスティッシュに→使う

4 残念ながら一度使ったティッシュはリサイクルには向きません。使い捨てなら再生品を!

リサイクルデザインボックスティッシュ



200組400枚入り/1個

1ケース50個入り(5個1組×10パック) 3,675円(価格は市内送料・税込みです)
*ご注文は1ケース以上をお願いします。11ケース以上の場合、1ケースあたり3,465円になります。1パック(5個)あたりに換算すると347円から368円です。
*市外への発送は別途料金がかかります。

もったいない! ティッシュは使い捨て!?
だから作りました
“牛乳パック100%の再生品”

グループ購入のおすすめ

「10パック(50個)は、多すぎる」と思ったあなた。グループ購入という方法もありますよ。

例えば5人で購入すれば、1件(1家族)あたり2パック(10個)というほど良い数。町内会や子供会などおおぜいの仲間を集めれば、一度に大量購入もできるかも。11ケース以上だと、お得な割引価格になります。玄関先までお届けしますので、たいへん便利です。

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話/045-444-2531
FAX/045-444-2532



マクロビオティック料理とは

津村尚美

プロフィール

1955年生まれ
(有) ナチュレ企画代表
フェアトレードショップ
「まじよらむ」を経営中に料理に
目覚める。
つづつクッキング研究生を経て
現在マクロビオティック師範科。
著書「エスニック料理」



「マクロ」大きい・長いの意味。「バイオ」は生命、生物学=バイオロジーのバイオと同じ語源です。「テ(イ)ック」は術・学を表わします。この三つの言葉をつなげると「長く思いっきり生きるための理論と方法」となり、そのためには「大きな視野で生命を見ること」が必要になります。

と本に書いてあります。私自身はまずからだの声を聞くことから始め、とにかくよく噛むことを意識しています。味覚は塩分の濃度が重要な役割をもちますが、からだにとって丁度良い塩分の濃度は7%といわれます。その味を濃いと思う人は、普段の味が薄すぎ、薄いと感じる人は普段が濃い味だということになります。

さまざまな食品を取り込んできたからだを、より生まれ持った自然のからだに近づけることで、私たちが本来持っている生命力を、心身ともにとりもどしていくことを目的に、読者の皆様に心をこめてご紹介します。

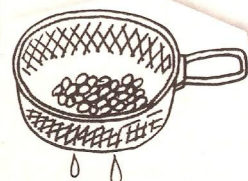
玄米をおいしく炊きましょう

これから玄米食にしてみようと考えている方には、調理器具として「圧力鍋」と「ガスマット」を揃えることをお勧めします。玄米を美味しく炊くコツは

- (1) 塩を入れることで穀物の旨味をひきだします。
- (2) 湯気を吹き出させることで、玄米のえぐみがとれます。
- (3) ガスマットを使うことで、ほたる火にしたときに鍋底全体に火が均一に通ります。雑穀を炊くときにもガスマットを使うと上手に炊けます。

材料
玄米 3カップ
水 4カップ
塩 小さじ1/4

*水加減：玄米4カップまでは水は+1カップ、それ以上は玄米の量の20%増



1.玄米を洗ってザルにあげ水きりをする。(炊く直前でよい)



2.圧力鍋に水を入れて沸騰させる。



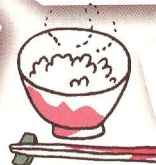
3.沸騰した湯の中に洗った玄米、塩を入れおもりをせず(圧力をかけず)にふたをする。

4.湯気が強く出始めたらおもりをする(圧力をかける)。(火は強め)

5.おもりがゆれはじめ(圧力がガガリはじめ)シュシュと音が強くなったら、そのまま強火で1分。



6.火を中火にして15分、ほたる火にして15分炊く。



7.火を止めて10分むらす。

*ほたる火：弱火のもっとも弱い火。かろうじて火がついているくらいの火力。

こむすび

牛乳パックから
生まれた紙ひも

小結くん で古紙をしばれば
まるごとリサイクル



1巻きの長さ90m		価格(税込)	送料
バラ売り		1巻230円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱10500円 (1巻210円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 8500円 (1巻170円)	

*振込手数料をご負担ください

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-444-2531/FAX045-444-2532

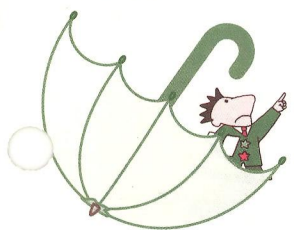
小結くん販売場所 ●横浜市青葉区・都筑区・鶴見区・神奈川区・保土ヶ谷区・
中区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●コミュニティストアすず
きや(戸塚区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●武松商事(中区) ●村松
商店(鶴見区生麦) ●おおぐち通商店街事務所(神奈川区) ●ぶらむろーど
杉田商店街事務所(磯子区) ●バラエティたかはし屋(神奈川区) ●どりー
む横浜二番館(西区)

販売して下さるお店募集中!

もうすぐ梅雨ですね。梅雨は苦手です。そして満員電車の中の濡れた傘はさらに苦手です。電車の中は湿気ムンムン、濡れた傘をズボンに押しつけられた日には、朝からブルーな気持ちでいっぱいになります。皆さんはいかがですか。

突然ですが、もし、傘を差している時、細い路地で向こう側から人が来たらあなたならどうしますか？ 江戸時代には相手に迷惑が及ばぬように、お互いに傘を外側に傾ける「傘かしげ」というしぐさがあって、江戸時代の町民たちの公衆マナー「江戸しぐさ」というそうです。

2021年ほど五本指ソックスを愛用中。絶対オススメで、水虫に悩む貴兄には特にね。あ、ほくの足裏は玉の肌です。



プロフィール
1964年横浜市生まれ。
横浜市のリサイクルを世界的視野からとらえ、リサイクル現場と市民のかけはし役割に奔走する。

東京では、この「江戸しぐさ」を小中学校の道德の時間に取り上げているらしく、そのかいあってか「下校する学生が横に広がって歩いていて迷惑」といった地域の苦情がなくなったのみならず「道で会うとあいさつする子が増えた」と評判は上々。「あれをしない、これをするなというより、江戸っ子らしく粋にやろうといった方が、子どもたちも納得してくれます」と、学校の先生は話しているそうです。

何をするにも理由もわからずに強制的にやらされるのでは、いい気持ちはしないでしょうし、やりたくもなくなります。東京の子どもたちは、他人を思いやる気づき、気働き行動を「江戸しぐさ」から学ぶことで、「なぜやらなければならないのか」を知ったのでしょうか。

さて、横浜ではG30の分別収集が2年目を迎えています。「なぜ、新聞と雑誌は分けなければならないのか」、「なぜ、缶・びん・ペットボトルは、すずがなければならないのか」、「なぜ、牛乳パックは開いて洗って乾かさなければならないのか」をここらでもう一度おさらいしてみたいはいかがでしょう。

【おさらいに役立つ本誌バックナンバー】
127号特集：古紙はまた紙に生まれ変わるんだ！
136号特集：缶、びん、ペットボトルの分別を再確認！
*バックナンバーをご希望の方は編集室までご連絡ください。

18区に聞く！ G30の わがまち自慢 金沢区・そのろ

子どもたちが職員って本当？！ ハイ、金沢G30減らしません課です

緑濃い丘陵地と海。市内でも特に豊かな自然に恵まれた土地柄は、住む人の自慢の種でもあります。愛する町をきれいにしたい、もっともっと住み良い町にしたい、そんな思いから自然な協働が生まれたようです。

夏休みになると 区役所に集まる子どもたち

金沢区G30推進本部では、昨年度から“G30移動教室”を行なっています。区内の小中学生に、ごみと資源物の分別方法や、なぜリサイクルするのか、どのようにリサイクルされるのか等について、ビデオなどを使い分かりやすく説明してくれる講座で、17年度には7校からの要望がありました。地域振興課の担当者西村さんは「今年度中に全市立小中学校（34校）で実施できたらと思っているんです」と意欲満々。

昨年度、この移動教室に参加した文庫小学校6年2組の子どもたち39名に「一



緒にG30のことを考え、行動しませんか？」と声をかけたところ、たいへん乗り気になってくれ、生まれたのが“金沢G30減らしません課”です。子どもたちは区内の様々なイベントに参加して、G30や環境に関する自分たちの活動を発表しました。夏休みには地域振興課の中に『G30減らしません課』の札を下げ、会議や作業の場所を確保しました。その子たちは春か



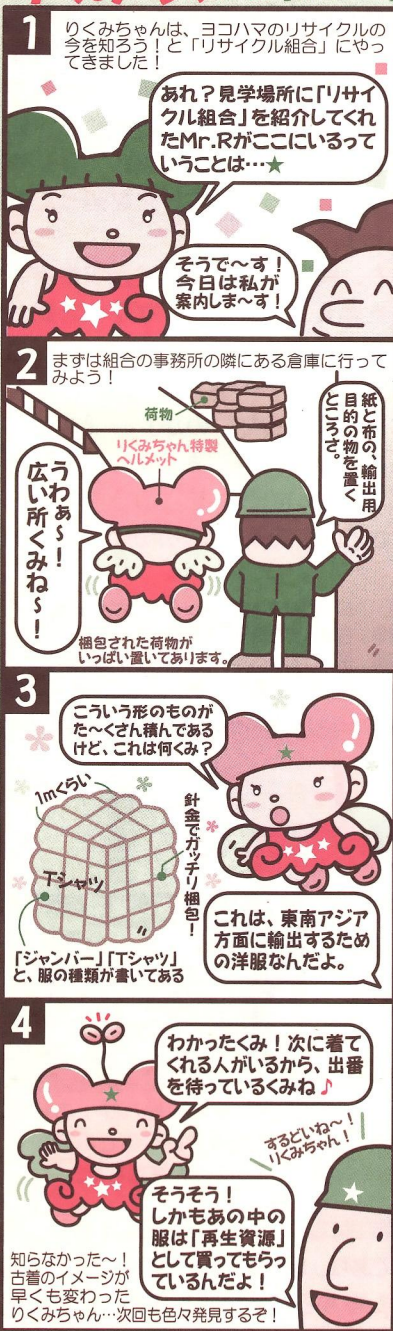
4月に行なった福祉バザーの様子。子どもが乗って遊べるごみ収集車のレプリカは大人気でした。

ら中学生になりましたが、今もしっかり“職員”であり、現在は後輩を募集中です。「子どもたちから学ばせてもらうこともたくさんありますね。減らしません課の職員が増えたら、将来は子どもサミットを開きたいと思っているんですよ」と西村さん。

アットホームなこの町で大切なのは区民との言葉のキャッチボール

金沢動物園や八景島シーパラダイスといったレジャー施設だけでなく、鎌倉時代からの歴史をもつ名所旧跡をかかえる金沢区は、「この町が大好き！」という郷土愛に満ちた区民が大勢います。キンビールをはじめとする大手企業なども積極的に、そんな区民と共に町づくりを進めようとしています。G30をPRし、区民の声を受けとめる区役所担当者、実際に収集作業にあたる資源循環局金沢事

務所の職員と区民や企業の間には、協力して開催したイベントなどを通じたコミュニケーションの輪ができています。言葉のキャッチボールを楽しみながらG30を推進し、ごみのことだけでなく環境全般に視野を拡げて暮らしやすい世の中をみんなで作っていきたくと考えている、そんな金沢区です。これから先、区民、企業、行政の協働によってどんなイベントが開かれるのか楽しみです。



りくみのトレペ

6/1 新発売!

※本物のトレペに顔は
書いてありません...

「一度使ったトイレットペーパーはリサイクルできない...ならば再生品を使おう!」
という考え方から生まれたこの商品...一度使ったらもうあなたは「エコの達人」!

★りくみのトレペで「2つのエコ」★

1

地球にやさしい エコロジー

環境を考えた
シンプルなデザイン

- * 再生紙100%で出来ています。
(牛乳パック30%以上使用)
- * シングルだから使いすぎない。
- * 芯なしだからごみが出ない。
- * 余計なものは省きました。
(カット線、香り、模様...なし)



「合言葉は「もったいない」♪」 キャンペーン価格!

1ケース(6個入り×8パック)

3,000円

税・配送料込みで、この価格

...1パックあたり375円

* 12個入りより1個分お得!

通常のトレペ...60m×12個=720m

りくみのトレペ...130m×6個=780m

この差が60m巻き1個分に相当します!

2

おさいふにやさしい エコノミー

かさばるトレペが
自宅に届く!

1パック
375円



りくみのトレペ

- * 再生紙100%
- * 1ケース 48個入り
(6個入り×8パック)
- * シングル
- * 130m
- * 芯なし

- * 関東以外の配達は、別途料金がかかります。
- * ご注文は1ケースからになります。
- * 代金は銀行・郵便局より振り込み(振込料
はお客様のご負担をお願いします)
- * 100ケースまとまると更にお安く!

合言葉は
「もったいない」♪

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
...電話 045・444・2531 FAX 045・444・2532

★リサイクルデザインでは、2006年4月〜2007年3月までの1年間「合言葉は「もったいない」♪」キャンペーンを実施しています。

平成17年度
ごみ量の
平成18年度

「実績」と
「目標」

～ごみ減量成果の持続と さらなる減量リサイクルにむけて～

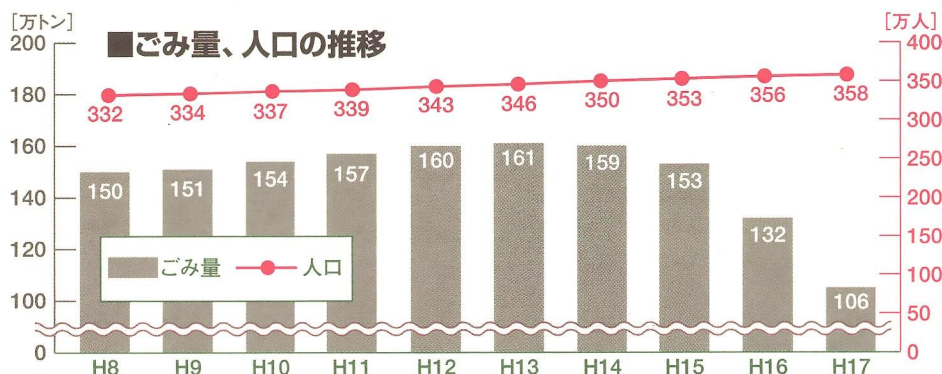
平成17年度の実績

(単位:トン)

	平成13年度 実績	平成17年度 実績	対H13 比	平成17年度 目標	対H13 比
市全体	1,609,155	1,063,271	-33.9%	1,164,000	-27.7%
家庭系ごみ	934,761	651,308	-30.3%	708,000	-24.3%
家庭ごみ	900,826	615,317	-31.7%	673,000	-25.3%
事業系ごみ	674,394	411,963	-38.9%	456,000	-32.4%

平成17年度のごみ量は106万3千トンで、平成13年度より約55万トン(33.6%)減少し、G30プランの目標である「13年度比30%削減」を5年もはやく達成しました。横浜市の人口は、17年度3.4%増でしたが、家庭ごみは約29万トン(31.7%)減少し、事業系ごみは約26万トン(38.9%)減少しています。

■ごみ量、人口の推移



平成18年度の目標

(単位:トン)

	平成13年度 実績	平成18年度 目標	対H13 比
市全体	1,609,155	1,063,000	-33.9%
家庭系ごみ	934,761	651,000	-30.3%
家庭ごみ	900,826	615,000	-31.7%
事業系ごみ	674,394	412,000	-38.9%

最大の目標は「ごみ減量成果の持続」と「さらなる減量・リサイクル」です。今年度は、焼却処理されているごみの中に資源化可能なものがまだ多く含まれているという調査結果などをふまえ、「分別の徹底と定着」をはかるとともに、さらなる「3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進」に向けて取り組んでいきます。

平成18年度は人口増加が見込まれますが、平成17年度のごみ減量成果を持続し、数値目標を「平成13年度に対しごみ量33.9%削減」とします。

「分別の徹底と定着」と「3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。

●分別の徹底と定着

焼却処理されているごみの中には、まだ多くの分別対象物や資源化できるものが含まれています。市民や事業者に対する情報提供、普及啓発等に積極的に取り組み、分別排出に対する理解と協力が得られるよう働きかけます。

●「3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進

これからは、分別・リサイクルの徹底と定着に加え、「余分な包装を断わる」「食べ残しをしない」などのリデュース、「繰り返し使う」「詰め替えのできる商品を利用する」リユースなど、ごみそのものを減らし、環境にやさしいライフスタイルの実践につながる働きかけを進めます。

※3Rとは

①発生抑制(リデュースReduce) ②再使用(リユースReuse) ③再生利用(リサイクルRecycle) 循環方社会の実現に向けた環境行動のキーワードです。



INFORMATION INFORMATION INFORMATION

編集室から

環境に配慮したものをかう「グリーン購入」、みなさんほとんどがな物が浮かびましたか。文房具などではグリーンマークが付いているものや、再生紙などが当てはまります。組合の事務所でも事務用品（ファイルや筆記用具が一番多く使いますね）などは、できる限り環境にやさしい製品を購入していますが、最近ではカタログを見ると本当に選ぶ商品が増えてきたなあ・・・と感じます。やはり少し割高感はあるかもしれませんが、それでも少し前に比べたら安くはなっています。使わないことには始まらないので、小さなことの積み重ねを大事にと思っています。

読者のみなさんも、いつもさほど気にせず使っているものや購入しているものが、環境に配慮したものなのか、なにかの再生品なのか、少し気にしてみると意外な発見があるかもしれませんよ。

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル（鶴見日新ビル2F）●グリーンバザール（南区六ツ川）●地酒篠原屋（港北区篠原）●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店●損保ジャパン横浜支店●東京ガス環境エネルギー館●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店●相鉄ローゼンミツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・ひかりが丘店・希望が丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安店・十日市場店・上里川店●マイカル天王町サティ店●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店●カフェ杜（港北区日吉）●うどんカフェ（青葉区こどもの国）●リサイクルショップ「トロワの森」●横浜国立大学生活協同組合大学会館店・工学部店●神奈川県中小企業団体中央会（中区尾上町）●リセールショップ遊民●WEショップ旭●WEショップかながわ大口店●WEショップかながわ六角橋店●WEショップこうほく●WEショップほどがや天王町店●WEショップちがさき店●WEショップちがさき十間坂店●リサイクルショッププランカスタ（西区）●WEショップ・あおばあざみ野南

●リサイクル標準価格表

2006年4月現在 日経4/27

品名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	0円	5.5~6円
雑誌	0円	3.5円
段ボール	0円	4.5~5.5円
衣類くず	設定不能	0~1円
アルミ缶	* 10~15円	
学校等アルミ缶回収	40~80円	

- ★集団回収には「買入価格」を適用
*スチール缶と選別済の価格
- ★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。
取引条件により多少変化します。
- ★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。
事業所ごとに業者と直接ご相談ください。
- ★段ボールは必ず束ねて出してください。
- ★学校等アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。現金化のほかにも車いす（200kgで）にも交換できます。

月刊 リサイクルデザイン No.141

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合 〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地 TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2532（編集室）
発行日：2006年5月25日 発行人：秋元康男 編集人：工藤健一 編集室：戸川孝則・竹澤留美
広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継・杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛・栗原清剛・大内 敦・船崎 健 制作：（企）エコ・アド 印刷：（株）横浜プリント

『リサイクル今とむかし』リサイクルデザイン 別冊

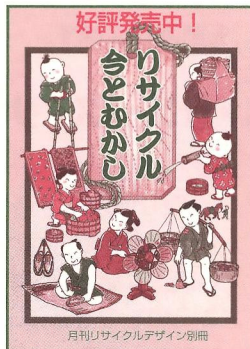
月刊リサイクルデザインでは、2003年1月の100号記念号で「リサイクルの今と昔」を特集しました。好評につき、その内容をいちだんと豊富にして構成し直し、あらためて、月刊リサイクルデザイン別冊『リサイクル今とむかし』を発刊しました。イラストを使って、子どもたちに分かりやすく、江戸時代のリサイクルから現在のリサイクルまでを紹介しています。

価格 **350円**（税込）

フルカラー24頁

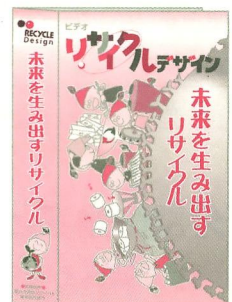
※送料は別料金になります

※グリーンバザール（南区六ツ川）に置いてあります



リサイクルデザインのビデオ 「未来を生み出すリサイクル」

このビデオは、暮らしの中から出る資源物（古紙・空き缶等）がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等にご活用ください。



詳しいことは 横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2532